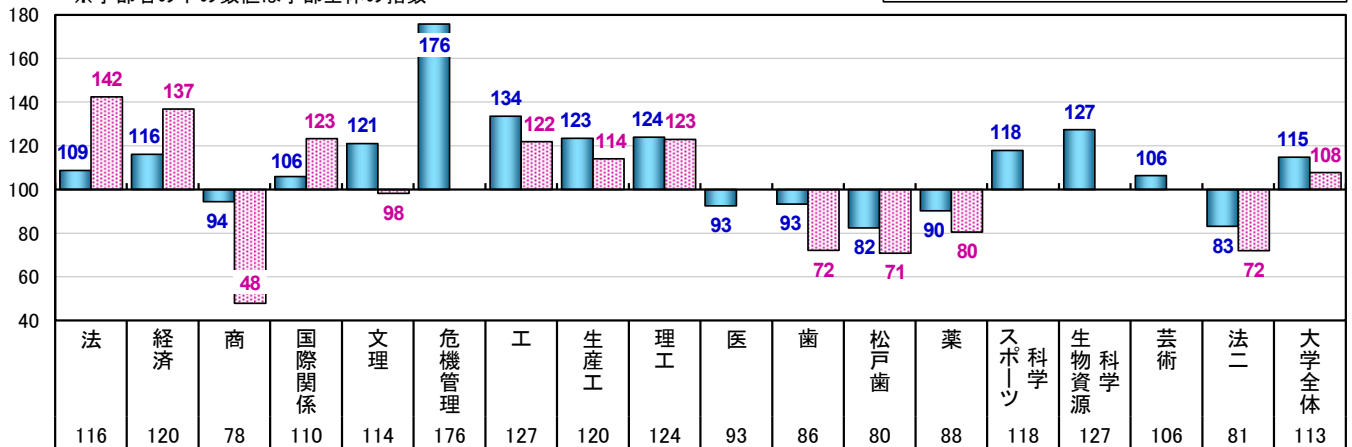


2020年度入試状況分析【私立大】

日本大：大学全体では1万3千人以上増加、メディカル系は減少 一般：+10,963人 センター：+2,086人

※前年度の志願者数を100とする指数
※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■センター利用方式



入試変更点

選抜方法：新規実施…文理(教育、社会)〈A 2期〉、(体育)〈セ・C 1期〉、(化学)〈セ・C 2期〉
生物資源科学(生命農、動物資源科学、海洋生物資源科学、応用生物科学、生命化学、食品ビジネス、食品生命、くらしの生物)〈N 2期〉
芸術(音楽/作曲・理論、弦管打楽)
廃止…文理(地球科学)〈セ・C 2期〉
募集人員：医〈A〉…92人→97人
入試科目：文理(英文、国文、史、心理、体育、中国語中国文化、地理、哲学、ドイツ文、社会福祉)〈A 2期〉
…公の選択から倫除外
(情報科学、生命科学、化学)〈A 2期〉…理の選択から地学除外
(物理)〈A 2期〉…理を物必須から化、生との選択に
(数学)〈セ・C 2期〉…理を除外
生産工(応用分子化学)〈N 1期、セ・C 1期、セ・C 2期〉…理の選択に生追加
生物資源科学(森林資源科学、国際地域開発、生物環境工)〈N 2期〉…選択に理追加
芸術(音楽/情報音楽)〈N 1期〉…数→国

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、13,049人(113)の増加で、前年度減少の反動がはっきりと表れた。志願者数は近畿大に次ぐ多さ。学部別では、危機管理(176)、工(127)、生物資源科学(127)、理工(124)、経済(120)、生産工(120)などが大幅増加。一方で、メディカル系の4学部は、系統への人気低下で全て減少。

<一般方式>

- 法(109)は、2年ぶりに増加。5学科全てが増加し、特に(法律)(112)、(政治経済)(111)の増加が目立った。
- 経済(116)は、大幅増加で2年ぶりに増加。学科別では、(金融公共経済)(89)は2年連続減少だが、他の2学科は大幅増加。
- 商(94)は、やや減少で2年ぶりに減少。学科別では、(経営)(115)は大幅増加だが、他の2学科は減少で3学科全てが前年度と逆の増減。(会計)(83)は大幅減少
- 国際関係(106)は、やや増加で2年ぶりに増加。
- 文理(121)は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、唯一減少の(社会福祉)(99)も2人のみ減少に留まった。(教育)(147)、(社会)(142)、(生命科学)(137)などが大幅増加。
- 危機管理(176)は、激増で前年度の反動による増減が継続。方式別では、〈N 2期〉(98)は微減だが、他の2方式は激増。
- 工(134)は、大幅増加で2年ぶりに増加。理・工系3学部の中では最も高い増加率だった。6学科全てが大幅増加。
- 生産工(123)は、大幅増加で2年ぶりに増加。9学科全て増加し、(機械工)(144)、(建築工)(133)、(数理情報工)(129)などが大幅増加。
- 理工(124)は、大幅増加で2年ぶりに増加。14学科全てが増加し、(電気工)(145)、(数学)(138)、(物理)(135)などが大幅増加。
- 医(93)は、やや減少で2年連続減少。方式別では、〈N 1期〉(121)が大幅増加で2年ぶりに増加。〈A〉(90)は4年連続減少で、募集人員減少もあり、志願倍率は39.2倍→33.3倍とダウン。
- 歯(93)は、やや減少で5年ぶりに減少。方式別では、〈N 1期〉(136)は大幅減少だが、〈A〉(81)は大幅減少。
- 松戸歯(82)は、大幅減少で3年ぶりに減少。方式別では、〈N 1期〉(126)は大幅増加だが、他の2方式は大幅減少。
- 薬(90)は、2年連続減少。方式別では、〈N 1期〉(109)は増加、〈A〉(86)は2年連続減少。
- スポーツ科学(118)は、大幅増加で4年ぶりに増加。方式別では、〈N 2期〉(77)は大幅減少だが、他の2方式は大幅増加。
- 生物資源科学(127)は、前年度大幅減少の反動に加え、〈N 2期〉を前年度から実施の3学科に続き、(獣医)以外の8学科にも拡大したことで大幅増加。新規実施分を除いても(120)の大幅増加。学科別でも全学科が新規実施分を除いても増加。〈N 2期〉を前年度から実施の3学科は、選択科目に理科を追加したことでいずれも大幅増加。

2020 年度入試状況分析【私立大】

<センター利用方式>

- 法(142)は、大幅増加で前年度の反動による大幅な増減が継続。5学科全てが増加し、(政治経済)(221)は倍増以上の激増。
- 経済(137)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。(金融公共経済)(90)は減少したが、他の2学科は大幅増加。特に(産業経営)(344)は前年度激減の反動で激増。
- 商(48)は、前年度大幅増加の反動で半減以下。3学科全てが減少し、(商業)(32)が激減、(会計)(49)は半減。
- 国際関係(123)は、大幅増加で2年ぶりに増加。学科別では、(国際総合政策)(157)が大幅増加だが、(国際教養)(91)は2年連続減少。
- 文理(98)は、(体育)で新規実施したが微減で、新規実施分を除くと(95)のやや減少。学科別では、(社会福祉)(207)が倍増以上の激増、(化学)(146)などは大幅増加。一方で、(英文)(48)、(社会)(68)などは大幅減少。
- 工(122)は、大幅増加で3年連続増加。6学科全てが増加し、(情報工)(112)、(土木工)(110)以外の4学科は大幅増加。
- 生産工(114)は、2年ぶりに増加。学科別では、(数理情報工)(150)、(建築工)(135)などが大幅増加。減少した学科では、(電気電子工)(90)の減少率が最も大きかった。
- 理工(123)は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、(海洋建築工)(89)のみ減少。(電気工)(171)、(建築)(146)、(数学)(139)などが大幅増加。
- 歯(72)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 松戸歯(71)は、2年連続大幅減少。
- 薬(80)は、大幅減少で3年連続大幅減少。